

一般社団法人 北海道環境保全技術協会 主催  
平成 23 年度第 2 回環境保全技術セミナー

日時：平成 24 年 2 月 10 日（金）、午後 2 時 30 分～5 時 00 分

場所：かでの 2 7 4 階 大会議室（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

<セミナーの内容>

**1. 技術レポートNo.1『自然由来ヒ素含有掘削ずり処理のための道内産火山灰土・粘性土の吸着層への利用可能性』**

〔概要〕 技術レポートNo.1では、自然由来ヒ素含有掘削ずり処理にあたり、道内産の火山灰土・粘性土の吸着層への利用可能性について検討した。道内各地の火山灰土・粘性土の吸着性能について紹介する。

〔発表者〕 一般社団法人北海道環境保全技術協会 小林技術委員（日本データサービス株式会社）

**2. 技術レポートNo.2『自然由来重金属問題共同研究 報告書 自然由来重金属問題対策フローマニュアル』（GETReC 共同研究）**

〔概要〕 技術レポートNo.2では、自然由来重金属問題について、計画・調査・対策・モニタリングに至るフローをGETReCとの共同研究としてマニュアルとしてまとめたものである。

〔発表者〕 一般社団法人北海道環境保全技術協会 堀内技術委員（株式会社ドーコン）

**3. 技術レポートNo.3『自然由来重金属問題に用いる現場分析マニュアル』**

〔概要〕 従来から実施されている公定法による分析では、その結果を得るまでに多くの時間を要する。技術レポートNo.3では早期に結果が得られる現場分析の手法を紹介し、公定法との関連性について解説する。

〔発表者〕 一般社団法人北海道環境保全技術協会 成田技術委員（株式会社ドーコン）

**4. 技術レポートNo.4『札幌市域における地下水の硝酸態窒素の濃度分布と経年変化—高濃度の要因と低減化技術—』**

〔概要〕 技術レポートNo.4では、札幌市域における地下水汚染の現状、特に硝酸性窒素の高濃度の要因と低減化技術について解説する。

〔発表者〕 一般社団法人北海道環境保全技術協会 広田副技術委員長（株式会社アクアジオテクノ）

**5. 技術レポートNo.5『自然由来重金属等の対策におけるリスク評価マニュアル』**

〔概要〕 技術レポートNo.5では、リスク評価の基本的な内容とサイト概念モデル構築の標準的な手順・方法について解説する。

〔発表者〕 一般社団法人北海道環境保全技術協会 山本技術委員（応用地質株式会社）

参加者 1 4 1 名（官公庁 39 会員 59 一般 30 報道・関係者 13）

今回のセミナーでは、当協会創立以来技術委員会が検討を重ねとりまとめた技術レポートNo.1～No.5 の解説を行った。いずれも自然由来重金属問題や地下水汚染問題に関わるテーマを題材として検討したもので、官庁や民間から多数の参加者が訪れ、熱心に聴講した。